



うまく書けたよ

1 January

作谷沢小学校 書初め大会

# やまのべ ぎかい だより

YAMANOBE Assembly Letter

- より良いまちづくりをめざして！ 政策提言書を提出 . . . 2P
- 第5次山辺町総合計画基本構想認定 12月定例会 . . . 4P
- 町政のここはどうする？ 一般質問 . . . . . 6P
- 新しい町への挑戦 議会活動報告 . . . . . 12P

町ホームページで  
議会中継を  
発信中!!

発行/山形県山辺町議会 編集/広報常任委員会  
Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp



〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1118

やまのべ ぎかい だより  
2018年1月号 VOL.99



## ニット議会開催

～お気に入りのニットで、町をPR～

議員と町幹部職員が町特産のニットを着用し和やかな雰囲気の中、熱い議論を交わしました。

### 傍聴にいらしたニット業界の方より

町議会の皆さまには、毎年のニット議会を通じて山辺産ニットのPRをしていただき、大変感謝しております。地域の産業としての業界のあり方と、地域ブランド『いつでもニット』をはじめ、各社の自社ブランドの価値をどう高めていくかが現状の課題となっております。町民の皆さまにおかれましても、山辺産ニットの良さをもっともっと知っていただければと思っております。

### 表紙の説明



一文字一文字をていねいに書く子どもたちの真剣な表情。作谷沢小学校の書初め大会を取材してきました。早く書き終わった児童も最後の一人が終わるまで静かに待っています。張りつめた空気に私も自然と背筋が伸びます。書き終わったそれぞれの作品を持ってみんなで記念に撮らせていただきました。年の初めにとびつぎりの笑顔に出会うことが出来ました。

### 編集後記

あけましておめでとうございませう。早くも平成の年号に入っています。30年。地域社会を取り巻く状況は、IT技術の進化や人口減少の到来など大きく変化し、昭和生まれの私達にとってまさに驚くべき時代の転換期です。今年もまた、犬は賢く優しい温もりある動物です。人間である私たちも、いつも一生懸命に、ぬいぐるみのように、どことなく構えて、驕ることなく自分らしく、し、真実、安心、住みよい町、幸せを伝えよう。今年も広報づくりに頑張ってください。皆様ご協力ありがとうございます。お願い申し上げます。 本田 四志子 記

- 発行責任者 藤 邦彦
- 編集長 藤 邦彦
- 広報常任委員会 委員 遠藤 真由美
- 副委員長 本田 四志子
- 委員 斉藤 昭彦
- 委員 神保 裕
- 委員 渡邊 春彦
- 委員 安達 彦

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



## 政策提言書を提出

# より良い町づくりをめざして！

町の政策が発展的、効率的に行われるよう、総務文教常任委員会、厚生産業常任委員会、広報常任委員会でそれぞれ議論し、検討してきた政策の方向性を「提言書」として取りまとめ、11月2日齋藤邦彦議長から遠藤町長に提出しました。

### 総務文教 常任委員会

幸せに暮らせる  
まちづくりを

人口減少社会の中、有効性・実効性・実現性のある「第5次山辺町総合計画」を策定され、町民一人ひとりの幸せを探索し続けること。



つくろう 幸せのまちづくり

心満たされる  
教育環境の整備を

社会環境の複雑化とゆとり教育の見直しの中、山辺らしい「子どもたちも先生も心満たされる」学校教育環境づくりに努めること。



心満たされる 読み聞かせ

危機管理対策の充実を

防災対策課の新設により、町の防災対策は強化されたが、甚大な自然災害への対応、北朝鮮のミサイル発射情報の確実な発信、また、増え続ける空き家の情報収集にも力を入れること。



安全な暮らしを守る 防災訓練

農業経営の  
安定化対策を

平成30年度からの減反政策の廃止により、生産現場は不安と動揺が広がっている。特に畜産業の飼料用米の利用促進と飼料用米による水田転作の増大を促すため管内に飼料用米加工施設の設置を強力に推進すること。

美しい原風景 大蔵棚田



観光振興で  
町の魅力アップを

地方創生の一つとして叫ばれている地域資源を活かした観光事業をより確かなものにするため、平成24年度作成の観光振興計画を抜本的に見直し、宿泊ゼロ地解消や観光大使の任命など、より具体性のある振興計画の策定と事業の推進を図ること。



住みよいまちづくりを 町長と懇談

### 厚生産業 常任委員会

健康増進への  
取り組み強化を

県内で一人当たりの医療費が上位を占める当町にとって、医療費削減対策は喫緊の課題である。

特に健康寿命の推進の拠点施設でもある「保健福祉センター」の役割は大きく、各種健診事業などの、より一層の充実と強化を図ること。



いきいき体操で 元気いっぱい

安心して産み育て  
られる環境整備を

平成21年度から出生数100人割れの続く当町の少子化対策は十分とはいえない。一つの目安として出生数100人を維持できるように少子化対策室の設置や婚活並びに生み育てやすい環境の整備など、町独自施策を策定し、積極的な事業を展開すること。



赤ちゃんが先生 すくすく育て

# 未来につなぐ自慢の町に！ 今後10年間のまちづくりの方向性決まる！

認定

大切にしたい 3つのこと



- ・子ども達の豊かな生活と環境づくり
- ・人のつながりを生み出す共に支え合える仕組みづくり
- ・新たな価値の醸成
- ・ものづくり文化エリアの形成
- ・担い手の確保・育成・支援
- ・地域コミュニティづくり
- ・災害時に効果を発揮する対策
- ・生活と自然の安全を築く

### 基本構想の認定にあたり 出された議員からの主な質問

- Q 雇用場の確保として企業誘致を、進める考えは。
- A これまで同様、参入してくる企業の支援、情報提供など行っていきたい。
- Q 具体的な施策は、これまでもやってきている。目新しい施策は。
- A 現状の施策を継続しながら、発展させていきたい。

### 定例会のあらまし

第4回定例会が、12月6日から8日までの3日間の会期で開催され、4人の議員が一般質問を行いました。  
また町税条例の一部改正、山辺町総合計画基本構想の策定、29年度一般会計補正予算などの議案を審議し、原案どおり全会一致で可決・認定しました。

## 第5次山辺町総合計画 基本構想

### 第5次山辺町総合計画とは

平成30年からおおむね10年間に、本町の総合的かつ計画的に行政運営を進めていくための長期的なまちづくりの方針や方向性を定める計画です。

## 議案審議

### ○町税条例の一部改正

配偶者控除の定義変更に伴う規定の整備

### ○医療給付金支給条例の一部改正

重度心身障がい者(児)医療給付、医療給付の一部負担金の上限額の変更  
・上限額 ひと月分の外来など1万2千円から1万4千円に、入院の場合4万4千円から5万7600円に  
・外来などの年間上限額が14万4千円に入院4回目以降は4万4千円に軽減  
(平成29年8月から適用)

### ○消防団定数の変更

現状に見合った団員定数の見直し  
405人から350人  
(平成30年4月から実施)

### ○町道路線の認定

大門地内  
境ノ目13号線 総延長70m



### 平成29年度 一般会計補正予算

1億1744万円を追加し **総額 53億9771万円**に

#### 主な事業

- ・ふるさと応援事業 1億648万円の増  
ふるさと納税事業支援サービス委託料、ふるさと応援基金積立金の実績見込み増
- ・福祉灯油購入費等助成事業 302万円の増  
低所得の高齢者世帯、障がい者のいる世帯、ひとり親世帯へ
- ・中学校部活動費補助 163万円の増  
全国大会出場などへの助成  
山辺中バレーボール部(女子団体) 山辺中柔道部(女子個人)



好評な さくらんぼ返礼品



### 特別会計補正予算

会計名	理由	本年度予算額
公共下水道事業特別会計	国の総合交付金事業の変更、地方公営企業法適化移行支援業務事業量配分見直し、工事請負費の執行差金などにより歳入歳出それぞれ1831万円減額	総額 4億9619万円
介護保険特別会計	介護保険システム改修委託料の増などにより歳入歳出それぞれ566万円を追加	総額 16億2216万円

**子育て支援**

# 山辺町の子育て支援に対する取り組みは

(町長) 町独自の事業検討も含め、関係機関と連携し充実させたい



安達 春彦

**質問** 町外の幼稚園の入園者数は16名。認可外保育施設を含めるとさらに増えると思われる。

**答弁** 現在町内には、公立保育所と小規模保育施設が1カ所ある。さらに保育の受け皿を広げるため、町

**質問** 多くの親は家の近くで預けたいと思う。町外への入所をしている人数は。

**答弁** 全国的には、保育所の確保・規制や運営資金、なにより保育士の不足が課題であるが、山辺町としては現在どのような状況か。

**質問** 保育所に預けられないため、働きたくても働けない、という声を耳にする。待機児童や保育所の入所状況は。

**質問** 全国的には、保育所の確保・規制や運営資金、なにより保育士の不足が課題であるが、山辺町としては現在どのような状況か。



認定子ども園への移行で受け皿拡大へ

**質問** 未就学児の預かり支援、学童保育の充実、住民保育などがあげられる。その

**答弁** 町で定めた基本的方向には「子育てしやすい労働環境の形成」、「子育て支援機能の充実」が掲げられているが、これまでに取り組んだ内容、結果、今後の課題は。

**質問** 町で定めた基本的方向には「子育てしやすい労働環境の形成」、「子育て支援機能の充実」が掲げられているが、これまでに取り組んだ内容、結果、今後の課題は。

**質問** 全国的には、保育所の確保・規制や運営資金、なにより保育士の不足が課題であるが、山辺町としては現在どのような状況か。

**答弁** 子どもの・子育て支援法に基づき、町内の小規模保育施設や町外の認定子ども園などに、入所・通園している児童の人数に合わせ、施設給付費の支給を行っている。

**質問** 「平成29年度山辺町基本事務事業計画書」に子育て支援事業も計画されているが、その成果は。

取り組みとして、先述の認定子ども園への移行、放課後や長期休暇の時の預け先として町内私立幼稚園に学童保育事業を委託、ファミリー・サポート・センターによる一時預かり支援、また子育て広場を開催し、子育てを通じた親同士のふれあいの場を推進している。今後はそれらの充実と、その他子育て支援を行うNPOの誘致や支援の方向を視野に入れている。



子育てしながら働ける環境をより充実化

# 町政の一般質問 ここはどうする？

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。



**傍聴しませんか** 次回の定例会は2月28日からです。お気軽にどうぞ。電話 023-667-1117 (議会事務局)

## 12月定例会では、4人の議員が一般質問を行いました。

- 安達 春彦** **子育て支援** 山辺町の子育て支援に対する取り組みは
- 武田啓一郎** **社会環境** 街中案内版の設置 やさしい英語併記も
- 渡邊 裕二** **安全横断** 山形朝日線（通称南大通り線）の歩行者のための安全確保は
- 鍋倉 竹志** **除雪対策** 1. 除雪業務の現状と今後の課題は  
2. 雪下ろし業務実施上の実情と課題は

町ホームページで議会中継を発信中!!

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

# 安全横断

## 南大通り線の歩行者のための安全確保は



渡邊 裕二

(町長)「山辺町交通安全条例」に基づき住みよいまちづくりに努める

**質問** 町の中心を走る重要な道路の一つとなつている南大通り線。朝や夕方の通学時間帯にはたくさんの人や車が通る。以前の質問により朝の時間の交通指導員の方々に交通誘導をしていただいているおかげで通学する子供たちは安全に渡ることが出来ている。

**質問** しかし、時間にばらつきのある帰宅時にはなかなか渡ることが出来ないでいる子供たちが多い。その対策は。

**回答** 他の通学に利用されている道路と比較した場合でも歩行者に対する安全性が高い道路となつている。

**回答** すつきりとしたスマートな街並みづくり、看板の設置年数の把握など安全面からも、重要で大切なことと理解している。予算的に対応可能なものから、英語併記案内板の設置を検討している。



交通指導員のサポートで安全な登校

**質問** 子供たちが渡る時も、日中でも止まる車が少なすぎる。まして、夕方の暗い時間帯には10分間で100台以上も車が通り、横断歩道付近で立っていても見えづらい所もある。

**回答** 役場北東のT字路は交通指導員を配置している。信号機の設置は警察庁交通局長通達があり、さまざまな条件がある。警察では新たな信号を設置する場合でも、別の所からの移設という考えがあるようだ。



暗く交通量の多い通学路

**質問** 子供たちや高齢者が安心して暮らせるためにも、さまざまな対策が必要である。信号機の移設が出来るのであれば役場北東T字路に設置の要請を。

**回答** 条件の中でも1時間の往復交通量が300台以上とあるが、議員調べの交通量には該当する。今後警察との協議を進めていく。

# 社会環境

## 街中案内板の設置 やさしい英語併記も

(町長) スマートな街並みづくり、英語併記も検討



武田啓一郎

**質問** 「山辺の街中は、分かりづらいね？」と、町外の方々から度々話を聞く。町内を、巡つてみた道路や施設、地区、町内会などの案内板、ガイドボードが意外にも少ないことなどを、改めて知った。

**質問** 山辺や大寺地区では、地番が飛び交錯しており、地番だけではどこなのか検討がつかない。

**回答** 合併協議時にできた問題などを踏まえ、町が独自に住居表示を導入する場合には、多くの課題に対処しなければならぬ。

**回答** 国際標準語とされる英語が、小学生にも本格的に導入される。英語をあらゆる場面で、町民の身近な日常生活の中に取り組んでどうか。語学教育的見地を超えて、暮らしの英語として他市町村に先駆けて、次世代につなぐメッセージを発してはどうか。



ここ、どこ？ 山辺、大寺？ 西之表・天神・芦沢町内会が微妙に入り込む…街中案内板があれば

**質問** 住所としては分りやすくはなるが、現在の道路などの地形地物に関わりなく地区界が存在しており、地区の分断が発生する地区が出てくる。

**回答** 国際標準語とされる英語が、小学生にも本格的に導入される。英語をあらゆる場面で、町民の身近な日常生活の中に取り組んでどうか。語学教育的見地を超えて、暮らしの英語として他市町村に先駆けて、次世代につなぐメッセージを発してはどうか。



山形市内の市街地などでも、スマートな英語併記の街中案内板が目につくように…

一般質問

# どうなったべ あの質問



議員が定例会で行った一般質問が、どう町づくりに反映されているか、これまでの質問の一部を取り上げました。

## 除雪対策

# 除雪業務実施上の現状と今後の課題は 雪下ろし業務実施上の実情と課題は

(町長) 除雪体制については身を引き締め十分な対応で臨みたい



鍋倉 竹志

**質問** 除雪に関する広報内容が住民個人に対する協力依頼傾向が強いと感じられるが、高齢化時代となり、町民がこぞって高齢者や生活弱者への協力を惜しまない互助精神を広報で啓蒙していくことも必要と思うが。

**答弁** これまで以上に助け合いの精神に理解が得られるよう広報も含め働きかけていきたい。

**質問** 間口の置き雪処の通路除雪の支援制度については、他市町では実施している事例もあるが、当町でも小型除雪機補助以外に適用

**答弁** これまで以上に助け合いの精神に理解が得られるよう広報も含め働きかけていきたい。

**質問** 間口の置き雪処の通路除雪の支援制度については、他市町では実施している事例もあるが、当町でも小型除雪機補助以外に適用

**質問** 除雪に関する広報内容が住民個人に対する協力依頼傾向が強いと感じられるが、高齢化時代となり、町民がこぞって高齢者や生活弱者への協力を惜しまない互助精神を広報で啓蒙していくことも必要と思うが。

**答弁** 現在ある小型除雪機補助制度を活用いただき、新たな支援制度については財

政状況を鑑み将来の課題とする。  
**質問** オペレーターの高齢化と若者の担い手が育っていない状況なので、早急な対策と、町の除雪を担う建設業が存続できるように公共事業量の確保を検討すべきでは？

**答弁** 建設業者のオペレーター確保が課題であるが、農業者



大変な除雪作業 急がれるオペレーターの確保



除雪体制を充実させ、冬期間も安心して通れる通学路に！

で除雪作業に従事する方は増えている。今後も、建設業協会の意見を聞きながら検討し、町としてどのような方法があるのか情報を集めていく。

**答弁** 雪下ろし作業は、建設業協会が直接住民から作業を請け負っている。早めに依頼し、希望日が集中しないよう広報していきます。

**質問** 各家屋の雪下ろしの問題についても、人員確保や作業員の高齢化による課題があり、就労問題も含め受注業者の負担になっている状況だが、当局の所感は。

- ① 学校規模の適正化、町はどう話しを進めるのか
- ② 人口減少に伴う学校再編は

平成28年12月7日 第4回定例会

**Q①** 適正な教育環境の規模という課題の中で、大寺小学校の将来のあり方は。

**Q②** 未来を生きる子ども達のために学校再編を踏まえた方向性をしっかりと考える時期では。

**A** 「今後の教育を考える座談会」を開催していくなど、話し合いの糸口を見出ししていく。

### 結果

山辺小学校・大寺小学校や地域関係者などによる学校再編・統合にかける「準備委員会」が設置され、今後の教育・環境整備などに関する協議が進められています。



統合される大寺小 運動会の様子

## 交通事故未然防止の取り組みは

平成29年5月6日 第2回定例会

**Q** 危険箇所でも白線や看板が消えかけ、カーブミラーも見えづらい場所を目の当たりにする。今後、より交通事故を発生させないために町としての取り組みは。

**A** 町としてもPDCAを意識し、交通事故「ゼロ」を目指して、交通環境のハード対策、交通安全のソフト対策を努めていく。また、交通事故防止の看板等の設置、交差点のカラー化など、道路管理者と協議を行なっていく。

### 結果

危険箇所である「セブンイレブン山辺店」と「県道山辺船町線」の各交差点の道路カラー化や止まれ表示の整備がなされました。最近ではエンジン音が静かなエコカーの利用者が増え、歩行者が車の存在に気づけないこともあり、特に交差点に気をつけて運転しましょう。



国道458号カラー化（セブンイレブン交差点を北西側から望む）

# 新しい町への挑戦

## やまのべ物産大盛況

### ～日立市産業祭視察～

日立市産業祭が、11月11日から12日の2日間の日程で、東日本大震災により被災した体育館を再整備された「池の川さくらアリーナ」を会場に開催され、素晴らしい天候にも恵まれ多くの来場者で賑わいました。

産業祭には、日立市の物産をはじめ親善都市提携の群馬県桐生市や友好都市山辺町、国際親善姉妹都市ニュージブラント・タウランガ市からの物産品も広く紹介されていました。

町の物産品であるリンゴ、ラ・フランスには心待ちにしていた市民の方々が長蛇の列をなし、舞米豚、絨毯、ニット、菓子などにもお客様が殺到するほど大盛況で、町の物産品の評判の良さを認識するとともに、こうした好環境を生かしての認知度を一層高め、ブランド開発などに発展していければと期待を抱いてきたところです。



にぎわいを呈した山辺町特産品

## 新庁舎を祝し表敬訪問

東日本大震災の被害により、隣接地の仮庁舎で業務を遂行されていましたが、このたび新庁舎が完成したことを祝し11月13日表敬訪問しました。庁舎は防災拠点性や行政サービスの向上はもとより1階全体を公園のように開放的な多目的広場の雰囲気を加味したコンセプトで設計され、高齢者や障がい者、子育て世代をはじめ市民に配慮した建物です。

また、市長室や応接室には市の花「さくら」をモチーフにしたオリエンタルカーペット製作の絨毯が敷き詰められ、心温まる空間をさらに醸し出していました。



市議会との懇談会

## 東京ガス日立LNG基地行政視察

東京湾外に初めて日立市に建設したLNG（液化天然ガス）基地を11月12日に視察。これまで千葉県袖ヶ浦、神奈川県横浜市根岸、扇島の既存の3LNG基地と連携することで、都市ガスの供給の安定性が確保されるとともに、北関東地域への普及拡大が見込まれています。

将来は、既存施設とループ化しての関東全域のエネルギーセキュリティを高めていく計画です。産業都市日立市のさらなる発展が期待されます。



基地内視察

## 議員研修 日立市へ行政調査

## 玉虫湖畔荘跡地の有効活用を



現地調査

玉虫湖畔荘跡地の現状を10月25日、政策推進課長の同行を得て現地を調査しました。

平成27年度に建物解体され、現在では合併浄化槽やキューピクルなどが残っています。

町では、周辺のテニスコート跡地、せせらぎ広

### 総務文教常任委員会

## 地域包括ケアシステムの構築に向けて

### 厚生産業常任委員会

地域包括ケアシステムの構築に向けた事業の業務委託方針について、11月24日保健福祉課から説明を受けました。

現在策定中の第7期介護保険事業計画で謳う、地域包括ケアシステムの深化・強化に伴い、これまでの地域包括支援センター運営事業の他に、在宅医療・介護連携事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業などの業務を一体的に委託することで、より充実した運営を図る。そのために、平成30年4月より委託先が山辺町社会福祉協議会に変更されます。

将来的には、高齢者、障がい者、生活困窮者、子ども達の総合相談で拠点として位置づけ、国が示している「地域共生社会」の実現ができるよう、段階的により一層の事業の推進を図られます。



地域共生社会の実現を

## エネルギー回収施設視察

### 議員全員研修

上山市川口地区に建設中のエネルギー回収施設と今年10月から本格稼働した山形市立谷川エネルギー回収施設を、12月13日議員全員で視察しました。

川口の施設は、1日あたり150トン（2炉）の処分能力のある施設規模で、平成30年11月の完成を目指し、すでに機器取付工事が始まっています。また立谷川の施設では、実際にごみ処分の工程を確認し、担当者からは、発電効率に優れ、最終処分量の減量化や金属類を資源化するなど、2つの施設が稼働することによって、長期的に安定した適切なごみ処理が可能となると説明を受けました。

なお、長く施設を維持し有効に活用していくためにも、家庭で出されるごみの減量化やごみ分別の徹底を進めていくことの大切さも改めて認識することができました。



川口地区に建設中のエネルギー回収施設

### 人工芝グラウンド完成で スポーツの町をPR

#### 中山町との懇談会

中山町との懇談会が11月10日開催され、10月に完成した中山中学校の人工芝グラウンドを視察しました。グラウンドは日本サッカー協会規格ジュニア企画に対応し、竣工には日体大の集団行動が一般公開されるなど、スポーツの町として素晴らしい環境となりました。

研修会では「議会の役割と議会活性化について」県町村議会議長会事務局長の武田裕樹氏より講演いただき、両町の課題など話し合いました。今後も情報交換など交流を深めていきます。



完成した人工芝グラウンド

### より開かれた議会づくりを

#### 朝日町との懇談会



地場産業を視察

朝日町との議員協議会が11月15日開催され、議会活性化をテーマに話し合いが行われました。

朝日町では政務活動費の使用用途を明確にし、収支報告書の閲覧やホームページによる公開、議会だよりに掲載するなど透明化を図っています。また、報酬や定員数についても現状としっかり向き合おうことで、議員一人ひとりの資質向上と議会活性化の議論をしています。

山辺町では議会運営委員会を中心に取り組み、政策提言書の提出やネット議会、出前議会の開催を行なっています。

協議後は、峰田メリヤス株式会社と山辺ふるさと資料館の視察を行いました。

### 住民意見を政策提言に 活かす取り組みを

#### 県町村議会議員研修会

山形県町村議会議員研修会が、10月17日、山形国際交流プラザで開催されました。

山梨学院大学教授の江藤俊昭氏から、「議会改革の現状と課題」と題し議会改革の起点として、住民意見を政策に活かす取り組みが重要であるとの話から、議会報告会などを通じ、住民との意見交換をさらに進めていくことの大切さを再認識しました。

経済評論家の三橋貴明氏からは「日本の政治、経済の行方」について、産業や社会基盤となる施設、インフラ整備が最大の経済効果になってきていることなど生活に身近な道路整備網の推進の重要性を認識した有意義な研修会でした。



議会改革で住民福祉の向上を

### 立谷川と同じ方式の施設を調査

#### 山形広域環境事務組合

山形広域環境事務組合議会議員の行政調査で、斉藤（昭）議員、遠藤議員が10月18日東京都あきる野市西秋川衛生組合の高尾清掃センター熱回収施設及びびりサイクル施設を視察しました。この組合（1市2町1村）の焼却施設は平成26年4月1日より稼働。運営業務委託料は20年間の契約で、今後のごみ処理量や経済状況に応じて変動を認めています。他にない取り組みとして、粗大ごみとして出された楽器や家具などをリサイクルして展示する工作室があり、今後販売も考えているとのこと。また、掘り起こしゴミの再処理により、最終処分場の延命化を図っています。

翌19日は、2市7町で組織している宮城県角田市仙南クリーンセンターを視察しました。余熱を利用した売電額は半年間で5800万円の実績とのこと。発電で動くマッソージチェアなど、見学者に分かりやすいブースが印象的でした。こちらも最終処分場の延命化に取り組んでおり、埋立地を大型テントで覆い周囲への配慮や天候に左右されない作業環境を確保しています。



角田市仙南クリーンセンター

### 正副議長視察・研修

#### 安心・安全なエネルギー供給のために

2市2町（山形・上山・山辺・中山）正副議長懇談会が、10月3日開催され、齋藤議長、神保副議長が、管内の電力の安定供給にかかる視察研修に参加しました。

12月中旬の運用供給を目指している上山市前川の工事現場、作谷沢地区の西山形変電所施設などを視察。東日本大震災を教訓とし、完成により、今後広範な地域や緊急時での電力の安定供給に大きく貢献されることを期待されます。



上山市前川鉄塔工事現場

### 新野球場「きらやかスタジアム」視察

3市2町（山形、天童、上山、中山、山辺）正副議長研修会が、11月17日に開催されました。

市総合スポーツセンターの中央部に位置する事業費約58億5千万円で約2年を費やして9月15日に開場した山形市の新野球場「きらやかスタジアム」を視察。施設は両翼100mで電光掲示板スコアボードや内野の観覧席1万2272席からは周囲の市街地や山々の眺望も素晴らしい、外野は西武ドームと同じ人工芝、駐車場もさらに増設工事が進められています。



7月には楽天の1軍公式戦開催予定

### 災害に強い安定供給を 目指して

#### 最上川中部水道企業団

平成29年最上川中部水道企業団議会第3回定例会が、10月6日開催され、新議長に鍋倉議員が選出されました。

また、12月9日に水道企業団創設50周年の記念式典が中山町中央公民館で開催されました。式典には歴代議長も招待され、これまでの歩みなどが紹介されるなかで、さらなる水道事業運営の安定と災害に強い供給体制を目指していくこと確認し、式典を祝いました。



最上川中部水道企業団創設50周年式典

## 石川町 猪苗代町 議会運営調査に来町

議会活性化について意見交換

福島県の石川町から11月1日、猪苗代町から11月17日、それぞれ議会運営委員会の皆さんが、議会運営調査のため来町し、議会予算・決算委員会の設置や委員構成などの議会運営に関することや議会活性化の取り組みについて意見交換しました。

両議会からの主な質問として、

- ① 議員の費用弁償（日当）の有無は
- ② 政務活動費の有無は
- ③ 議員定数の見直しは
- ④ 政策形成（政策提言・提案・評価）の進め方は
- ⑤ 予算、決算委員会の審査の方法や執行部の対応は

など多岐にわたり情報交換しました。

議会運営に少し違いがあるものの、共通する課題として、議会のインターネット中継や議会モニター制度の導入など、議会活性化に向けて検討すべきことなどが議論されました。

他県の市町村議会との交流や情報交換を行うことで、新たな発見や開かれた議会や議会改革、活性化に向けた方向性を確認するなど、とても有意義な交流となりました。



猪苗代町議会



石川町議会

〈山辺町での取り組み〉

議会報告会の開催

山辺町議会では、平成23年度から、議員と町民がつどい、議会活動を報告するともに、まちづくりなどさまざまなテーマで話し合いをしております。

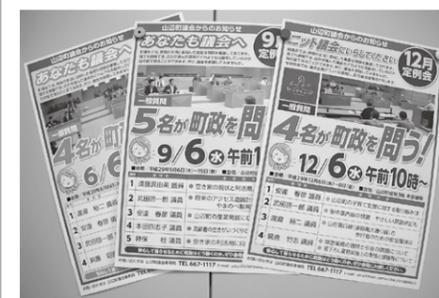
また町内の企業・小グループ・各種団体からの要望に応じ、議員が会場に向いて対話する「出前議会」を行っています。



未来を語ろう！ 議会報告会

PRポスター！  
チラシの作成

より多くの方が議会に関心を持っていただくよう、議会開会前に一般質問内容を記載したポスターを公共施設などに掲示、チラシを配布しています。



ぜひ傍聴にいらしてください！

## 山辺らしさとは何か

山辺町商工会との懇談会

議会と商工会との懇談会が12月14日、開催され、議員全員で参加しました。

商工会の現状説明の後、今回は議会各委員会の活動内容を理解したいとの要望で、3つの常任委員会の委員長より活動報告を行い、それを受けて意見交換を行いました。

その中で、「先進地事例の情報を共有したい」「町に興味を持ってもらい共に若いリーダーを育てたい」「全国どこへ行っても「らしさ」がない」「スピード感を持って議員と一緒に、山辺に目を向けてもらえる方向を検討して行こう」などの意見が出されました。



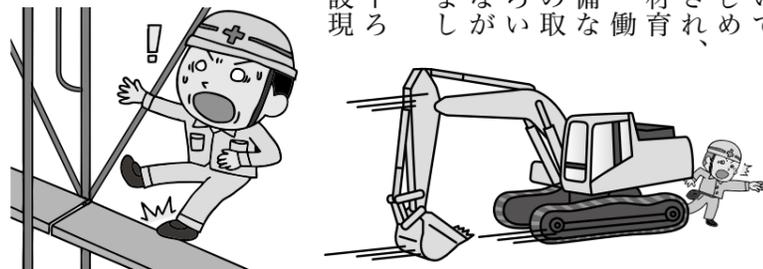
「計画・実行・反省・次に活かす」ための懇談

## 町建設業協会役員との懇談会

厚生産業常任委員会

町建設業協会役員と厚生産業常任委員との懇談会が、鈴木孝典議長も同席し、10月31日開催されました。席上、協会より除雪・雪下ろし対策、除雪運転手の確保対策、入札の平準化、後継者の育成、空き家対策、耐震診断などについての現状や課題をはじめ意見・要望が提出され、若者・後継者の人材育成、活躍しやすい・働きやすい環境の整備など各般にわたっての取り組みについていろいろな意見を交わしながら懇談会が行われました。

特に、除雪・雪下ろし作業をはじめ建設現場の安全を確保し、労働災害の防止にさらに努められた旨を強く申し入れしました。



## イベント情報

イベント	場所	期日	内容	問合せ
山形市 蔵王樹氷まつり2018	蔵王温泉スキー場	3月4日(日)まで	1千人松明滑走、冬のHANABI、樹氷のライトアップ鑑賞など多彩なイベントが開催されます。	蔵王樹氷まつり協議会 TEL 023-647-2266
上山市 加勢鳥(かせどり)	上山城～市内(中心市街地他)	2月11日(日)	ミノをかぶった若者に祝いの水をかけ、五穀豊穡と商売繁盛、火伏せを祈る冬の風物詩です。	上山市観光物産協会 TEL 023-672-0839
中山町 第30回柏倉九左衛門家ひな祭り	旧柏倉九左衛門家	3月3日(土)～3月18日(日)	江戸時代大庄屋を勤めた柏倉家のお雛祭り。享保雛、古今雛、珍しい「五人官女」など展示されます。	第30回柏倉九左衛門家ひな祭り実行委員会 TEL 023-662-2235



町の災害情報メールにご登録ください。

緊急時に町からのお知らせが届きます。

<https://service.sugumail.com/yamanobe/> (携帯)  
<https://service.sugumail.com/yamanobe/member/> (PC)

電話でも内容が確認できます ☎ 023-629-0011

## 出前議会募集中!

対象 地域の集まり・子ども育成・グループなどの団体

お問い合わせ・お申し込み 議会事務局 ☎023-667-1117

★お近くの議員までお気軽にお話しください